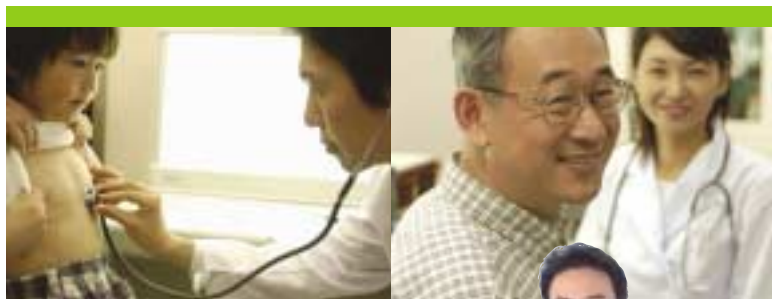


第58期 株主通信

平成17年4月1日～平成18年3月31日

sawai TODAY



p a t i e n t s f i r s t



沢井製薬株式会社

証券コード 4555

ジェネリック医薬品のトップブランド

なによりも患者さんのために

patients first

ジェネリック医薬品にできることはたくさんあります。
なによりも、患者さんのお薬代の負担を軽くして、
薬を必要とする、より多くの人に使っていただけます。
高齢化社会の中で増大の一途をたどる国の
医療費抑制にも貢献します。

私たちのモットーは

「なによりも患者さんのために」という精神。

だから、私たちは、品質を追求します。

安いだけでなく、飲みやすさなどの、

新薬にない独自の価値を生み出します。そして、

求める人に求められるときにお届けできるように、

研究・開発体制の強化とともに、

安定供給体制をさらに充実させてまいります。

また、医師・薬剤師などの専門家、患者さんへの

情報提供活動をより活発にし、

もっともっと安心して使っていただくための

活動を続けています。

より多くの人にジェネリック医薬品を知ってもらい、

誰もがジェネリック医薬品を

手にできる世の中をめざすこと。

——私たちは、

ジェネリック医薬品を通して人と社会に貢献します。

TOP MESSAGE

当期業績の概況と

創業以来最高の業績をジャ



CONTENTS

TOP MESSAGE

——当期業績の概況とこれからの取り組み	1
当社の体制と活動	
品質管理	5
情報提供	6
開発/生産/供給体制	7
啓発活動	8
連結財務諸表（要約）	9
単体財務諸表（要約）	12
会社概要	13
株式情報	14

ンプ台に、トップブランドとしてのさらなる飛躍に挑戦します。

第58期は、ジェネリック医薬品への認知とニーズの高まりや、制度の整備などの追い風を活かした積極経営により、売上・利益ともに過去最高を記録することができました。

次期は、これをジャンプ台に、いよいよ始まろうとしている、ジェネリック医薬品の時代に向けて、開発や営業、生産などを一層強化・充実させて、トップブランドとしてのさらなる飛躍に挑戦します。

代表取締役社長 澤井 弘行

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第58期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の事業報告をさせていただきます。

追い風を活かし、 売上・利益とも過去最高を更新しました

当期は、医療費・薬剤費を抑制するための諸施策が引き続き推進される中で、ジェネリック医薬品使用促進施策がとられ、市場環境が次第に整ってきました。特に平成18年4月に実施された処方せん様式の変更はジェネリック医薬品の普及拡大の大きな追い風になると見込まれています。

こうした中で、当社は、①大病院ジェネリック医薬品市場の開拓、②一部基幹病院での一般名処方、代替調剤開始の機会を捉えた市場開拓活動、③前期（平成16年7月）

に発売した新製品の大幅伸張や、④当期新製品をテコにした採用先の拡大により、売上を大幅に伸ばすことができました。さらに⑤操業度の向上による売上総利益の上昇や⑥販管費を横ばいに抑制することにより、売上高26,616百万円（前期比14.3%増）、営業利益4,299百万円（同121.2%）、経常利益4,040百万円（同114.5%）、当期純利益3,009百万円（－）といずれも過去最高の業績を上げることができました。

次期は引き続き安価で良質なジェネリック医薬品の使用促進のための環境整備がさらに進められると考えられ、①ジェネリック医薬品のトップブランドとして「品質・情報・安定供給」による信頼性のアピール、②拡大する新市場のさらなる開拓と③高採算製品の拡販を行い、売上高31,600百万円、経常利益4,840百万円、当期純利益2,780百万円を目指し、取り組みを進めます。

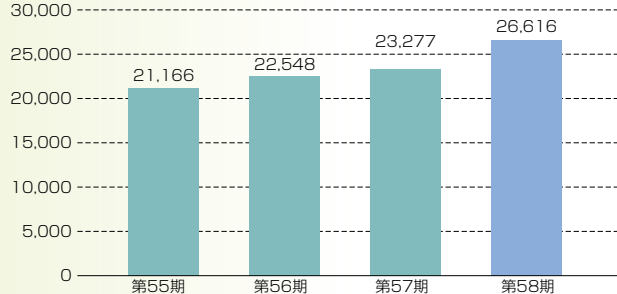
ようやく離陸期を迎えた市場で 積極的にリーダーとしての役割を果たします

日本のジェネリック医薬品市場は、欧米に比べ大幅に遅れています。ジェネリック医薬品はアメリカ、イギリス、ドイツでは50%以上のシェアを占めますが、日本ではわずか16%。しかも、これらの国ではジェネリック医薬品の伸び率はブランド医薬品よりはるかに高いのに、日本ではほとんど伸びが見られませんでした。このような状況は、患者さんと日本社会全体にとっての大きな損失ではないでしょうか。

こうした中で行われた平成18年4月の処方せん様式変更は、患者さんの選択権導入や、政府による啓発活動の実現により、ジェネリック医薬品の普及に大きなインパクトをもたらします。これを機に、メーカー・業界による啓発活動に加え、多くのTV・ラジオ番組での特集などにより、ジェネリック医薬品の認知や使用促進環境は大きく前進しました（右ページコラム参照）。しかし、私たちは患者さんと社会の負担軽減のためには、まだまだ不十分と考えています。当社では、良質で安価なジェネリック医薬品のさらなる普及促進と市場の確立をは

■売上高

(百万円)



かり、医療機関への安定供給の先にある「患者さんへの安定供給」を実現させることを社会的使命と考え、業界のリーダーとしての取り組みを強化していきます。

安定供給、MR体制の充実、開発力の強化… トップブランドとして課題に応じていきます

市場環境が整備される一方で、ジェネリック医薬品業界の責任も大きくなり、①先発品の全規格（剤型、含量等）を取りそろえること、②全国的に安定供給できる体制を整えることなどが業界としての課題となっています。

また、調剤薬局では、①安定供給（卸チャネルの充実）、②地域基幹病院への納入実績、③MRによる情報提供の質と量、④株式上場という信頼性、⑤TVCMなどによる知名度がジェネリック医薬品ブランドの選定基準となりつつあり、これに応えることが「選ばれるブランド」としては不可欠になっています。

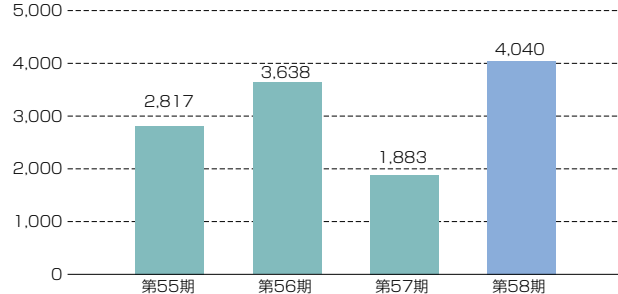
当社ではこうした認識に基づき、トップブランドとしてのブランド確立をはかります。

①安定供給体制の確保、生産体制の増強

——需要拡大と当社シェアの拡大に対応した流通体制の整備、全社的な生産体制の再構築

■経常利益

(百万円)



②MR増員による基幹病院、調剤薬局市場開拓

——基幹病院等の新市場に即応した営業体制の確立

③MR支援体制の充実による情報提供機能拡充

——国公立病院等の高度なニーズに応える情報提供機能の確立

④開発意思決定の迅速化

——新本社・研究所完成による開発機能の向上

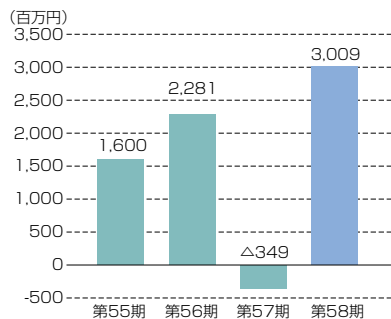
⑤当社認知度の向上、もっとも選ばれるジェネリック医薬品ブランドになる

——積極的な啓発活動とブランドの強化

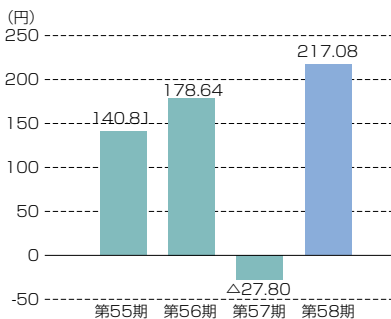
また、人員の適正化や生産性の向上、開発業務の効率化などにより、収益力と企業体質の強化を行い、業界をリードする継続的な成長を実現したいと考えています。その具体的な取り組みは、次ページ以降に①品質管理、②情報提供、③開発/生産/流通体制、④啓発活動の4つの視点から紹介していますので、ぜひご一読ください。

株主の皆さまにおかれましては、これからも引き続き変わらぬご支援、ご指導をいただきたくお願い申し上げます。

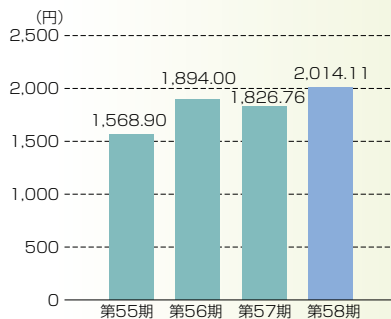
■当期純利益



■1株当たり当期純利益



■1株当たり株主資本

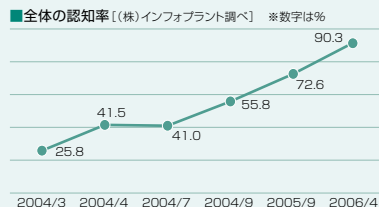


Market TOPICS

認知率は90%を突破!

日本でもいよいよジェネリック医薬品の時代が間近に!

(株)インフォプラントの調べによると、一昨年の2004年3月にはわずか25.8%だったジェネリック医薬品の認知率が90%を超えました。これは医療費負担の増加に伴う社会的関心の高まりとともに、CMなどを積極的に展開した当社をはじめとする業界の活動の大きな成果。マスコミでの関心も高まり、3～4月だけでも報道番組やバラエティ番組など28もの番組で盛んに取り上げられました。もちろん当社では、澤井社長自らがインタビューに答えるなど、番組づくりに積極的に協力。ジェネリック医薬品のトップブランドとしての認知向上に努めました。



ジェネリック医薬品を取り上げたTV番組の例 (06年3月～4月・順不同)

番組	放送日	局名
ウェークアッププラス	4月 8日(土) 8:00～ 9:25	テレビ朝日
VOICE	3月22日(水) 18:16～18:55	毎日放送
ビジネス関西	3月26日(日) 14:55～15:00	関西テレビ
ちい散歩	4月20日(木) 9:55～10:30	テレビ朝日
ムーブ	3月30日(木) 15:49～17:54	朝日放送
イッポウ	4月11日(火) 16:50～18:55	中部日本放送
びーかんテレビ	3月28日(火) 9:55～10:55	東海テレビ
どさんこワイド	4月17日(月) 15:50～19:00	札幌テレビ
タワワイド新潟一番	3月27日(月) 16:50～19:00	テレビ新潟

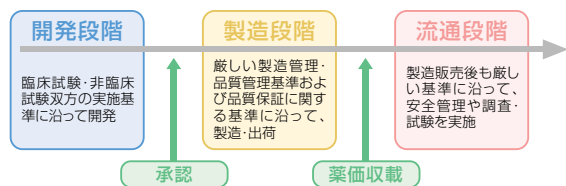
品質管理

沢井製薬の、高品質な製品は、
独自の厳しい基準と、
高度な生産設備、生産環境から――

新薬と変わらない品質と安全性

医薬品には有効性・安全性を確保するために、薬事法によるさまざまな規制があります。製造管理、品質管理など各段階で守るべき基準があり、新薬もジェネリック医薬品もまったく同様の規制を守って開発、製造、販売されています。

●開発・製造・流通段階での管理基準



また、新薬の特許期間が満了するまでの間、その薬は多くの患者さんに使用され、有効性のみならず安全性の定期報告もなされています。したがって、新薬と同じ有効成分であるジェネリック医薬品についても、安全性が証明されているのです。

沢井製薬独自の規格で品質管理

沢井製薬では、こうした基準を満たすだけでなく、医薬品としての品質をさらに高めるため、独自の取り組みを行い、ジェネリック医薬品の品質への評価向上に努めています。

➔ 独自の厳しい原料受け入れ規格試験

一つの医薬品を開発するために、世界中から数々の良質な原料を収集。薬効成分の分子構造や結晶形が新薬と同じか、高レベルな純度に達しているかを徹底的に解析し、もっともすぐれた一つを選び抜きます。

➔ 独自の厳しい製品出荷基準

製造に当たって各製造工程で管理基準に従ってセルフ

チェックを行う一方、製造部門とは独立した品質管理部門が管理状況と品質をチェック。出荷基準にも、独自の厳しい基準を定めています。

➔ 出荷後もきめ細かく追跡試験

出荷後の製品は保存サンプルを一定期間ごとにきめ細かにチェック。品質変化がないことを絶えず確かめて、安全性を追究しています。

高品質の製品を生み出す、最先端の設備・環境

最先端の機器・設備の導入をはじめ、新薬メーカーを含む医薬品メーカーで最高水準の生産環境づくりに努めています。



① 日本初の全自動水洗式打錠機
錠剤をつくる打錠機は、新薬メーカーを含めても日本初の最先端の設備を導入しています。

② 全自動PTP包装機
錠剤をPTPシートに封入するPTP包装機も、人の手がいっさい触れない全自動です。

③ 工場内
徹底した空調管理により、クリーンな製造環境を維持しています。

情報提供

どこよりも速く、どこよりも充実した質・量を——
ジェネリック医薬品メーカーNo.1を
モットーにした医薬品情報活動を展開。

<http://med.sawai.co.jp>

医療関係者から信頼される情報活動を

ジェネリック医薬品普及の大きな課題とされているのが、メーカーによる情報提供の充実。当社では、「どこよりも速く」「どこよりも質の高い情報を」「どこよりも充実した量で」提供することをモットーに、ジェネリック医薬品のトップブランドとしての信頼を高める情報活動を展開しています。

約40名の薬剤師、約250名のMRが 質の高い医薬品情報を提供

医薬情報は本社医薬情報部および全国7支店11営業所の約40名の薬剤師が管理。約250名がよく研修されたMRを通して、医薬品の適正使用に欠かせない情報をきめ細かく迅速に提供し、医療関係者からの信頼の向上に努めています。また、医療現場からのお問い合わせには24時間対応し、万一のトラブル時にも即応できる万全の体制を整えています。Webサイト上には医療関係者向けのページを設け、充実した製品情報を公開しています。

(<http://med.sawai.co.jp/>)



充実のエビデンス

「製品情報概要」「インタビューフォーム」はもちろん「緊急安全性情報」「配合変化表」「生物学的同等性データ」「純度など品質のデータ」など、医薬品に求められる情報を提供できる体制を整備。溶出試験データ(品質再評価)や臨床データなどの準備も進め、「信頼のサワイブランド」づくりをさらに進めています。

Sawai TOPICS

薬価比較など、ジェネリック医薬品ならではの 充実した製品情報で好評の医療関係者向け情報サイト

製品情報はもちろん、患者さんの負担の比較、先発品との適応症の違いなど、ジェネリック医薬品ならではの情報を掲載し、医療関係者から高い評価を得ている医療関係者向け情報サイト。医療機関で当社製品が採用される大きな力となっています。



開発/生産/供給体制

ジェネリック医薬品をいち早く届けたい。
万全の生産と流通の体制で求める人みんなに
届けたい——トップブランドの自覚のもと、
開発力も強化させています。

❶ いち早くお届けするための研究体制

安価で良質なジェネリック医薬品をいち早くお届けすることは、トップブランドとしての使命。沢井製薬ではこのような考えに立って、大阪研究所、研究開発センター、製剤研究センターの3つの研究施設で、新薬の特許が切れたらすぐにジェネリック医薬品をお届けできるよう、日々研究開発を行っています。

❷ 5つの工場で安定供給体制を構築

当社製品は循環器用剤、抗生物質、抗がん剤など医療用医薬品350品目に及びます。こうした数多くのジェネリック医薬品を安定供給するために、生産体制の充実に努めてきました。大阪工場からスタートし、昭和56年には九州工場が、昭和63年には子会社であるメディサ新薬の九州工場が、平成4年には三田工場が完成。さらに平成17年には関東工場も加わり、現在では全国5工場のべ151,666平方メートルという業界トップレベルの生産体制を構築。ジェネリック医薬品メーカーへの需要が高まる中、メーカーに今いちばん求められる「安定供給」を実現し、医療機関・患者さんのニーズに応えています。

❸ 広域卸・販社との全国ネットワーク

当社製品の採用先は国立病院など6,500軒（カバー率75%）、医院・診療所36,400軒（カバー率37%）に及びます。全国に広がるこれらの採用先に安定してお届けするために、広域の医薬品卸会社に加え、地域に密着した展開として当社をメインとする全国約170社にのぼる販売会社とのネットワークを構築。きめ細かな配送・物流体制で患者さん、消費者から見た安定供給体制づくりに努めています。



「(財)日本緑化センター会長賞」(1999)を受賞した九州工場(70,351m²)



❶ 平成17年日本シーリングより譲受した関東工場
(32,527m²)

❷ テクノパークの一角にある三田工場(14,686m²)

❸ 子会社のメディサ新薬九州工場
(34,102m²)

ISO9001:2000 認証も取得

啓発活動

なによりも患者さんと社会の負担を軽くするものだから、しっかりとジェネリック医薬品について知って、使ってほしい——沢井製薬はテレビCMをはじめ、さまざまな媒体を通してジェネリック医薬品の啓発と、当社のブランドづくりに努めています。

患者さんが知りたい情報をタイムリーなCM・広告で啓発

経済的なメリットや品質などの安心づくりから、処方してもらう方法へ——当社では認知状況や制度の変化等を見すえながら、タイムリーにCMや広告、パブリシティを展開。段階的にジェネリック医薬品の認知を深めるとともに、「ジェネリック医薬品なら沢井製薬」といっていただける企業ブランドづくりをはかっています。

➤ 「知る」から「選ぶ」へ——テレビCM第3弾を放映

4月からの処方せん様式の変更を機会に第3弾テレビCMを放映。「どうすれば処方してもらえるのか」という患者さんの声に応えました。



➤ 4月1日、全国47紙で一斉に新聞広告

処方せん様式が変更になった4月1日には、読売新聞、朝日新聞、日経新聞の全国紙をはじめ、北海道から沖縄までの地方紙あわせて47紙で一斉に全面広告を行い、「患者さんがお薬を選ぶ時代」を強くアピールしました。



➤ 医療費抑制などへの社会的意義を訴える雑誌広告

ジェネリック医薬品が患者さんのためだけでなく、医療費抑制により社会的意義の高いものであることを理解してもらうために、ビジネスマン読者の多い「週刊文春」で10月から12月まで3回シリーズで記事体広告を実施。海外の状況や日本の課題などを含め、ジェネリック医薬品への理解を訴えました。



0 健保組合と共同取り組みを推進

健康保険組合にとって、組合員の医療費抑制は大きな課題。そこで当社では企業の健康保険組合が組合員を対象に行う活動に貢献するために、啓発用の小冊子や高橋英樹さんが登場し、マンガでやさしく解説するマンガ冊子、医療機関で提示するための「ジェネリック医薬品お願いカード」の配布をはじめ、共同取り組みを推進しています。共同取り組みを行っている健保はすでに150健保以上。これからもどんどん増やしていきたいと考えています。



マンガ冊子(左)
啓発用小冊子(右)

ジェネリック医薬品お願いカード(下)

連結損益計算書

単位：千円

科 目	当連結会計年度 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前連結会計年度 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
1 売上高	26,616,287	23,277,034
売上原価	13,265,008	12,316,911
2 売上総利益	13,351,279	10,960,122
販売費及び一般管理費	9,051,935	9,016,108
営業利益	4,299,344	1,944,014
営業外収益	146,141	138,757
営業外費用	405,098	199,177
経常利益	4,040,387	1,883,593
3 特別利益	1,128,969	—
4 特別損失	126,005	2,262,301
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	5,043,351	△ 378,707
法人税、住民税及び事業税	1,830,359	65,188
過年度法人税等戻入額	—	△ 66,000
法人税等調整額	203,035	△ 28,564
当期純利益又は純損失(△)	3,009,956	△ 349,331

Point ① 売上高

大手病院等新規市場開拓が順調に進んだことをはじめ、平成18年4月の処方せん様式変更を前に、薬価改正前の買い控えの影響が例年ほどは見られなかったこと、平成16年に発売した製品の大幅な伸長、平成17年7月の新製品売上の順調な推移等により、前年同期比14.3%増となりました。

Point ② 売上総利益

売上高の増加に伴い、工場の生産稼働率が大きく向上したこと等により、製造コストが低下しました。また、新製品など高採算品目の売上増も寄与し、前年同期比21.8%増となりました。売上高総利益率は3.1%上昇し、50.2%となりました。

Point ③ 特別利益

平成17年10月に日本シーリング(株)から譲り受けた関東工場の固定資産譲受益675百万円を計上しました。また、10月より確定拠出年金制度を導入し、これまでの適格年金制度を解散いたしましたので、制度移行による退職給付引当金取崩益297百万円を計上しました。

Point ④ 特別損失

減損会計の適用に伴い、遊休土地、建物の減損処理(連結:26百万円、単体:490百万円)を実施しました。(なお、前期は、年金基金脱退のための特別掛金1,652百万円などを計上いたしました。)

連結貸借対照表

単位：千円

科 目	当連結会計年度 平成18年3月31日現在	前連結会計年度 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	29,274,614	23,472,873
現金及び預金	6,832,455	5,238,668
受取手形及び売掛金	12,079,598	10,212,942
たな卸資産	9,608,756	7,019,289
繰延税金資産	531,746	326,317
その他	239,906	709,209
貸倒引当金	△ 17,848	△ 33,553
固定資産	22,722,769	18,536,038
有形固定資産	20,602,536	16,069,952
建物及び構築物	8,019,826	7,821,871
機械装置及び運搬具	3,349,550	3,531,121
土地	4,443,549	4,069,945
建設仮勘定	4,049,828	30,490
その他	739,781	616,523
無形固定資産	791,448	229,321
投資その他の資産	1,328,783	2,236,764
投資有価証券	880,448	913,498
長期貸付金	256,463	82,000
長期前払費用	110,950	115,428
不動産信託受益権	—	655,726
繰延税金資産	4,497	374,670
その他	107,549	117,053
貸倒引当金	△ 31,124	△ 21,612
資産合計	51,997,384	42,008,911

単位：千円

科 目	当連結会計年度 平成18年3月31日現在	前連結会計年度 平成17年3月31日現在
負債の部		
流動負債	18,352,486	13,461,132
支払手形及び買掛金	4,855,402	4,046,384
短期借入金	4,428,216	4,705,084
未払金	6,376,149	3,786,653
未払法人税等	1,919,244	60,640
賞与引当金	564,225	463,114
返品調整引当金	53,676	41,000
その他	155,572	358,255
固定負債	4,811,378	3,578,933
長期借入金	3,836,760	2,219,476
退職給付引当金	—	595,228
役員退職慰労引当金	362,059	350,790
繰延税金負債	135,154	—
その他	477,405	413,438
負債合計	23,163,865	17,040,065
少数株主持分		
少数株主持分	1,290,655	—
資本の部		
資本金	7,022,220	7,022,220
資本剰余金	7,345,916	7,345,916
利益剰余金	12,867,838	10,433,960
その他有価証券評価差額金	307,028	166,888
自己株式	△ 139	△ 139
資本合計	27,542,863	24,968,845
負債・少数株主持分及び資本合計	51,997,384	42,008,911

連結財務諸表(要約)

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成17年4月1日～平成18年3月31日	平成16年4月1日～平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,885,258	2,119,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,313,209	△ 1,802,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,021,737	450,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増加額	1,593,787	767,594
現金及び現金同等物の期首残高	5,238,668	4,471,073
現金及び現金同等物の期末残高	6,832,455	5,238,668

連結剰余金計算書

単位：千円

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成17年4月1日～平成18年3月31日	平成16年4月1日～平成17年3月31日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	7,345,916	7,325,062
資本剰余金増加高	—	20,854
資本剰余金期末残高	7,345,916	7,345,916
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	10,433,960	11,368,759
利益剰余金増加高	3,009,956	△ 349,331
当期純利益又は純損失(△)	3,009,956	△ 349,331
利益剰余金減少高	576,078	585,467
配当金	546,078	545,467
役員賞与	30,000	40,000
利益剰余金期末残高	12,867,838	10,433,960

単体財務諸表 (要約)

損益計算書

単位：千円

科 目	当 期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前 期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売上高	26,225,353	22,927,306
売上原価	13,903,184	12,917,114
売上総利益	12,322,169	10,010,192
販売費及び一般管理費	8,781,382	8,256,177
営業利益	3,540,786	1,754,014
営業外収益	162,162	234,029
営業外費用	366,887	169,670
経常利益	3,336,061	1,818,374
特別利益	1,131,045	—
特別損失	526,147	2,173,211
税引前当期純利益又は純損失 (△)	3,940,960	△ 354,837
法人税、住民税及び事業税	1,538,080	62,000
過年度法人税等戻入額	—	△ 66,000
法人税等調整額	48,526	△ 39,787
当期純利益又は純損失 (△)	2,354,353	△ 311,050
前期繰越利益	307,258	390,051
合併により引き継いだ未処分利益	—	284,726
中間配当額	204,779	204,780
当期末処分利益	2,456,833	158,947

貸借対照表

単位：千円

科 目	当 期 平成18年3月31日現在	前 期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	26,845,822	22,326,175
固定資産	21,078,999	17,061,317
有形固定資産	18,468,219	14,364,270
無形固定資産	787,168	222,114
投資その他の資産	1,823,611	2,474,931
資産合計	47,924,822	39,387,493
負債の部		
流動負債	17,226,330	11,939,578
固定負債	4,827,191	3,495,029
負債合計	22,053,521	15,434,607
資本の部		
資本金	7,022,220	7,022,220
資本剰余金	7,345,916	7,345,916
資本準備金	7,345,916	7,345,916
利益剰余金	11,196,275	9,418,000
利益準備金	400,841	400,841
任意積立金	8,338,601	8,858,210
当期末処分利益	2,456,833	158,947
その他有価証券評価差額金	307,028	166,888
自己株式	△ 139	△ 139
資本合計	25,871,300	23,952,885
負債及び資本合計	47,924,822	39,387,493

会社の概要

社名	沢井製薬株式会社
創業	昭和4年4月1日
設立	昭和23年7月1日
資本金	70億2,222万円
従業員数	626名(連結)
事業内容	医薬品・健康食品の製造販売及び輸出入
販売品目	循環器用剤、抗生物質、抗がん剤など 医療用医薬品350品目及び一般用医薬品
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、りそな銀行
ご採用先	国立病院など全国約6,500病院(カバー率約75%)、 約36,400医院・診療所(約37%)、及び調剤薬局
販売代理店	西部沢井薬品(株)ほか国内170社、海外1社及び広域卸
提携会社	明治製菓(株)、旭化成ファーマ(株)、積水化学工業(株)、 日本シエーリング(株)、扶桑薬品工業(株)、 三菱ウェルファーマ(株)、第一アスピオファーマ(株)、 全星薬品工業(株)ほか

役員

代表取締役会長	澤井 治郎	取締役	澤井 武清
代表取締役社長	澤井 弘行	取締役	徳山 慎一
専務取締役	澤井 光郎	取締役	高橋 嘉輝
常務取締役	佐藤 博之	常勤監査役	小西 俊明
常務取締役	岩佐 孝	監査役	大石 和夫
常務取締役	戸谷 治雅	監査役	眞野 新
常務取締役	木村 圭一	監査役	上田 耕治
常務取締役	石川 数一		

本社・事業所・グループ会社

本社	本社(大阪市)
支店	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
営業所	上信越、北関東、東京東、東京西、横浜、静岡、北陸、 京都、神戸、高松、松山
工場	大阪工場、三田工場、九州工場、関東工場、メディサ新薬九州工場
研究所	大阪研究所、研究開発センター、製剤研究センター
関連会社	メディサ新薬株式会社

株主メモ

決算期	3月31日	事務取扱場所 〔郵便物受付〕 〔電話照会〕	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部 ☎0120-78-2031 株式関係のお手続用紙のご請求は、次の中央三井信託銀行の 電話及びインターネットでも24時間承っています。 ☎0120-87-2031 http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
定時株主総会	6月		
1単元の株式の数	100株		
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当を行うときは9月30日	同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。	名義書換手数料	無料
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	公告掲載新聞	日本経済新聞 ※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社 ホームページ(http://www.sawai.co.jp)に掲載しております。

株式情報 (平成18年3月31日現在)

株式状況

会社が発行する株式の総数	38,800,000株
発行済株式の総数	13,652,000株
1単元の株式の数	100株
株 主 数	9,113名

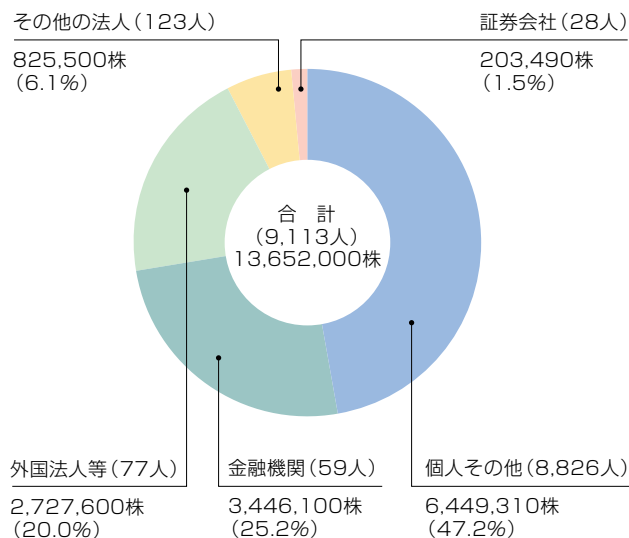
大株主

株 主 名	持 株 数
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社 (信託口)	978,000株
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社 (信託口)	694,600株
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운ツ イーアイエスジー	632,900株
澤井治郎	614,300株
澤井弘行	614,300株
澤井光郎	484,000株
澤井健造	484,000株
株式会社三井住友銀行	300,000株
澤井徳治	264,000株
野村信託銀行株式会社 (投信口)	229,900株

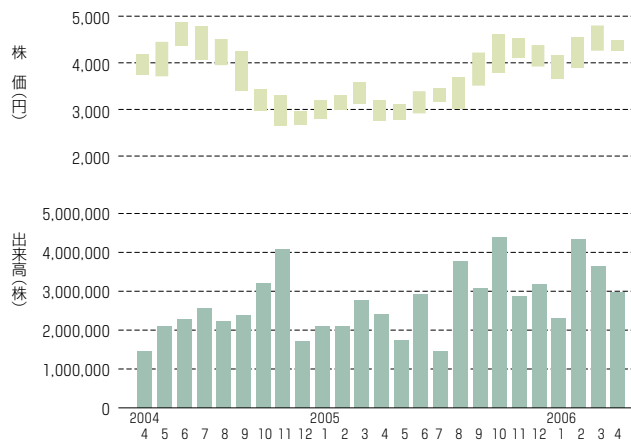
(注) 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	978,000株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	694,600株
野村信託銀行株式会社 (投信口)	229,900株

株式分布状況



株価 (高値・安値) および出来高の推移



1
なぜ?

効きめが同じなのに

お薬代が約半分[※]

になるのは、なぜ?

※薬により安くなる割合は異なります。窓口で支払う金額は診察代・検査代等が含まれており、これが約半分になるわけではありません。



ジェネリック医薬品は新薬が特許期間満了後に厚生労働省の承認を得て発売されるお薬です。

新薬に比べて大幅な開発コストの削減と開発期間の短縮ができるため、新薬と同じ成分・同じ効き目でありながら、その価格は平均すると新薬の約半額になります。

だから、患者さんのお薬代負担が軽くなるというわけです。

本格的な少子高齢化社会を迎えた我が国において、医療費の問題は深刻です。だから、価格が安いジェネリック医薬品は、患者さん個人だけでなく、国全体の医療費節減にも大きく貢献することのできるお薬として、国レベルで積極的に使用促進がはかられているのです。

沢井製薬は、日本におけるジェネリック医薬品のトップブランドとして、高品質な医薬品の製造・販売、ジェネリック医薬品の普及活動を推進しています。

 **ジェネリック医薬品の処方をご希望の時は、かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。**

ジェネリック医薬品は、医療用医薬品のため医師の処方箋が必要です。お薬によってはジェネリック医薬品のない場合、医療機関により取扱いのない場合もありますので、ご希望の際にはまず医師や薬剤師の先生にご相談ください。

沢井製薬株式会社

大阪府大阪市旭区赤川一丁目4-25 〒535-0005

TEL: 06-6928-7071

URL: <http://www.sawai.co.jp>



この株主通信は、環境に配慮し、再生紙と大豆インキを使用しております。